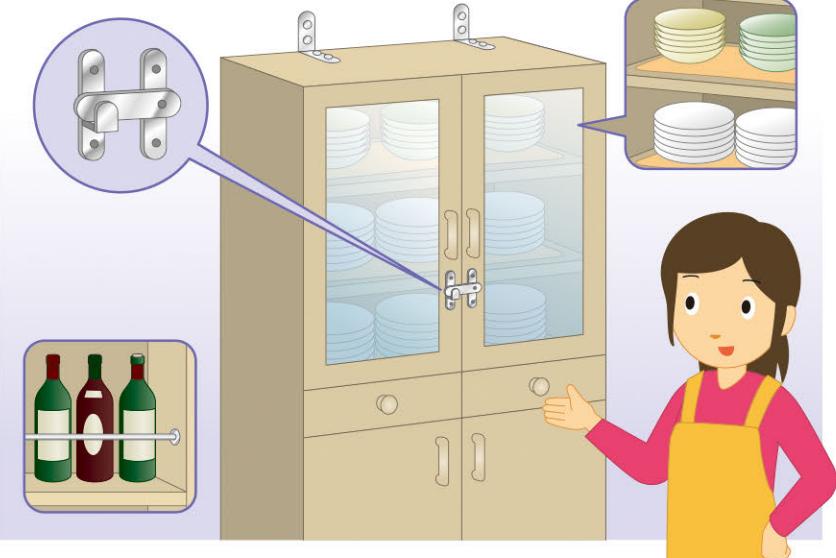
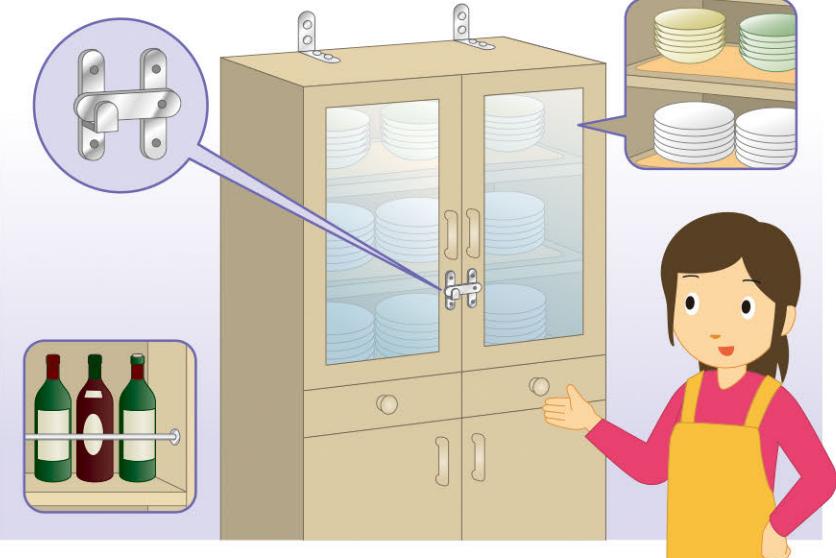


屋内の安全対策

地震で建物が倒壊しなくとも、家具の転倒やガラスの飛散等により、大きなケガをしたり逃げ場をふさがれたりします。事前に家具などの固定や配置方法の工夫を行い、屋内の安全性を高めておきましょう。

収納に工夫を <ul style="list-style-type: none"> タンスや本棚などに入れるものは、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにします。 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。 	耐震金具を利用しよう <ul style="list-style-type: none"> 転倒防止金具 壁や柱と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。 重ね留め用金具 重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。
照明器具の補強を <ul style="list-style-type: none"> 吊り下げ式の照明器具は、チェーンなどで止めておきましょう。 	扉・引き出し開放防止金具 地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。
置き方に工夫を <ul style="list-style-type: none"> 家具の下部の前方に転倒防止のビニール樹脂状のものを入れ、壁にもたれ気味にします。 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫を。 <p>地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置しないようにしましょう。</p>	
ガラスの飛散防止を <ul style="list-style-type: none"> 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。 	

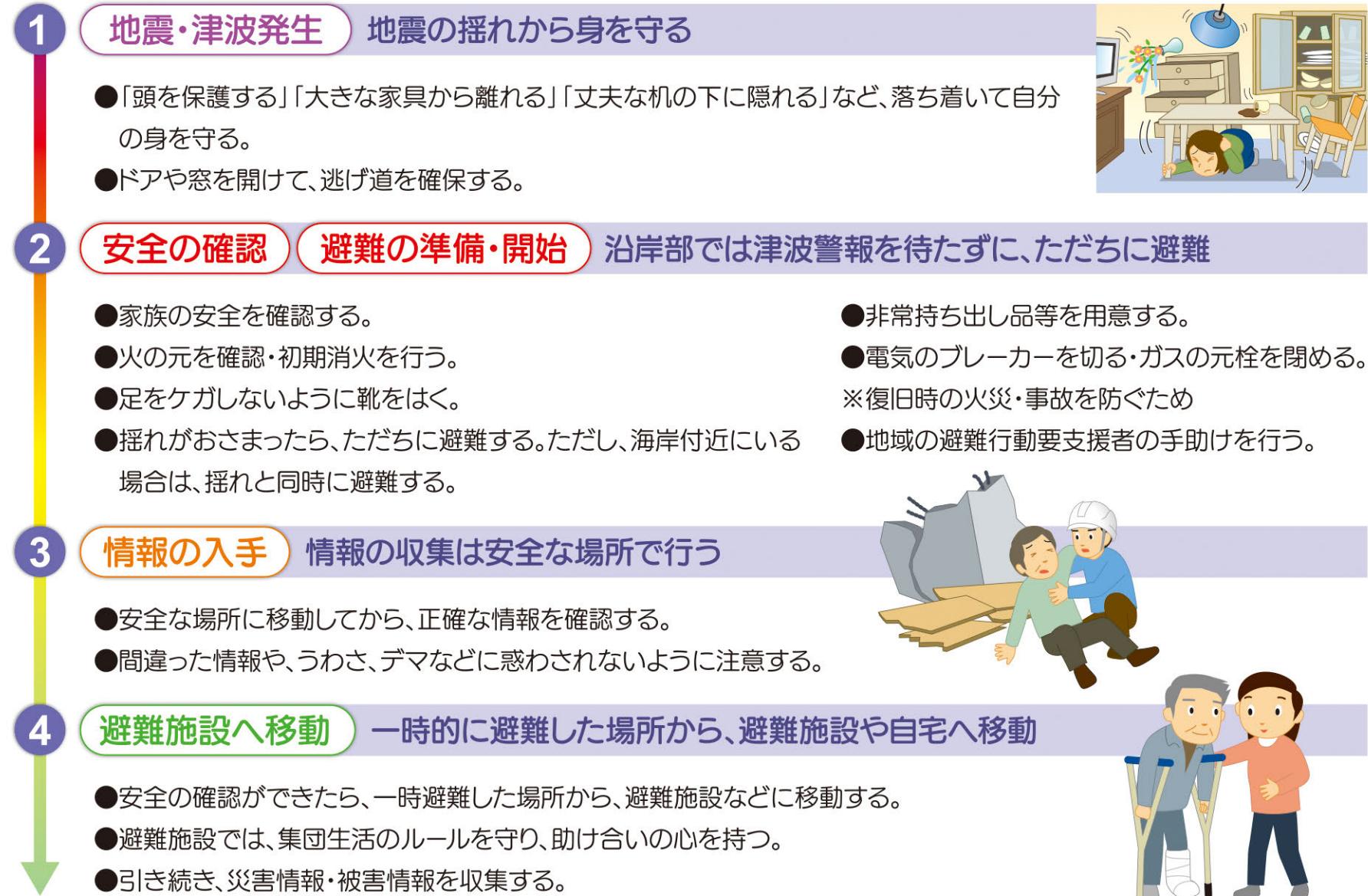
屋外の安全対策

地震の揺れにより、ブロック塀などが崩れてケガをしたり、ガスボンベなどが倒れるなどした場合に、火災やけがにつながる場合があります。事前に家の周りを点検し、屋外の安全性を高めておきましょう。

壁・塀 <ul style="list-style-type: none"> 壁や塀にひび割れなどがないか、腐ったりしていないか点検しましょう。 ブロック塀は、地震の揺れにより崩れる可能性があるので、できれば安全な生垣などにしましょう。 	撤去費の補助制度があります。 <small>◀詳しくはこちへ</small>
ガスボンベ <ul style="list-style-type: none"> ガスボンベは、動かないように壁に固定しましょう。 ガスボンベの周りには、物を置かないようにしましょう。 	

地震・津波が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。また、海岸付近で揺れを感じた場合は、すぐに津波が襲来することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難しましょう。



緊急地震速報を見聞きしたら…

周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保しましょう！

「緊急地震速報」は、地震によって大きな被害が出ると予想される地域を対象に、揺れが始まる前に、テレビ・ラジオ・防災行政無線などからみなさまに伝えられる情報です。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



家庭では…

- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外へ飛び出さない。

屋外では…

- ブロック塀の倒壊等に注意。
- 看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる。

人が大勢いる施設では…

- 係員の指示に従う。
- 落ち着いて行動。
- あわてて出口に走り出さない。

自動車運転中は…

- あわててブレーキをかけない。
- ハザードランプを点灯し、安全な場所にゆっくり停止する。

山やがけ付近では…

- 落石やがけ崩れに注意。

エレベーターでは…

- 最寄りの階で停止させ、すぐに降りる。